資料４

総合計画

みんなで創り上げるふくしまの将来の姿

「ひと」「暮らし」「しごと」が調和しながらシンカ（深化、進化、新化）する豊かな社会

- 「誰もが活躍できる」「ひとりぼっちにしない」「人とのつながり・支え合い」などの“ひとが大切にされる”地域社会（＝ひと）
- 「医療・福祉が充実」「災害や犯罪が少ない」「子どもが育てやすい」「自然豊か」などの”安心・快適に暮らせる”地域社会（＝暮らし）
- 「産業や観光が盛んである」「雇用の受け皿がある」「一次産業の活性化」などの”働ける場所（仕事）がある”地域社会（＝しごと）

主要政策

- ひと分野（５政策）
- 暮らし分野（６政策）
- しごと分野（７政策）

県づくりの理念

（将来の姿の実現のために、県民の皆さん、民間団体、市町村、県が連携しながら「福島ならでは」の将来の姿を実現するために共有する、総合計画の根底にある考え方）

人口減少が避けられない中で、**持続可能な地域社会を作り上げていく**ためには、東日本大震災からの復興・再生や人口減少対策など**これまでの取組を継続**しながら、**新たな取り組みにも挑戦を進め、急激な社会情勢の変化に柔軟に対応**していくことが大切です。

- **多様性に寛容で差別のない共に助け合う地域社会（県）づくり**
  ⇒寛容、認め合い、つながり＝やさしさ
- **変化や危機にしなやかで強靭な地域社会（県）づくり**
  ⇒回復力、強靭さ、健全さ＝すこやかさ
- **魅力を見いだし育み伸ばす地域社会（県）づくり**
  ⇒美しさ、あたたかさ、魅力・強み＝おいしさ

スローガン

やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれる ふくしまを共に創り、つなぐ（案）

保健医療福祉復興ビジョン（案）

目指すべき将来の姿

東日本大震災･原子力災害を克服し、次の3つの側面から捉えた理想のふくしまの実現を目指します。

- 誰もが生涯を通じて健やかに、住み慣れた場所で “いきいきと活躍できる”地域社会
- 社会全体で子育ち･子育てを支援する環境が整備されており、“安心して子どもを生み育てられる”地域社会
- 安全･安心な医療、介護･福祉サービス提供体制、生活衛生水準、健康危機管理体制などの社会基盤が確保されている社会

主要施策

- 全国に誇れる健康長寿県の実現
- 質の高い地域医療提供体制の確保
- 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
- いきいき暮らせる地域共生社会の推進
- 誰もが安全で安心できる生活の確保

東日本大震災・原子力災害からの復興・再生

基本理念

私たちは、「全ての県民が心身ともに健康で、幸福を実感できる県づくり」を理念とし、次のとおり取り組みます。

○ 東日本大震災からの復興や少子化・高齢化対策、健康長寿の実現など、短期間で解決が困難な課題に対しては、施策の検証と改善を繰り返しながら、長期的な視点で、粘り強く解決に取り組みます。

○ 新型コロナウイルス感染症の流行や自然災害の頻発化・激甚化、経済的な困窮、ひきこもり問題、家族の介護等を担う子ども(ヤングケアラー)をはじめとする社会的孤立問題など、社会の状況はめまぐるしく変化し、様々な課題が次々と顕在化しています。
これから訪れる予測困難な未来においても、しなやかに変化を受け止め、広い視野とチャレンジ精神を持ち、地域共生社会の実現に向け、これらの課題解決に取り組みます。

○ あらゆる分野で複雑化・多様化する保健・医療・福祉の課題に対して、関係するすべての主体が連携・共創し、一丸となって解決に取り組みます。

スローガン

○○○○○○○ ○○○○○
○○○○○○○○○○○○○